

## シンビジウム 3月の管理について

### 1 かん水

エルメコノズル等を利用した頭上かん水を主体とし、水のかかりが悪いところはホースによる手かん水を併用してかん水ムラを防ぎます。

回数は2～4日に1回程度、時間はエルメコノズルで10分間を目安とし、鉢底から水が十分に流れる程度にたっぷり与えます。

回数やかん水時間は、品種やリードバルブの生育状況により加減してください。

開花期には灰色かび病等により花卉を傷めることがあるので、注意してください。

### 2 施肥

開花株は油カスを月1回、7号鉢で15g、8号鉢で20～25gを基準に施用します。但し、肥料に敏感な品種は、窒素分を控えめに管理しましょう。

ロング等の緩効性被覆肥料も利用でき、3～6か月に1回の施用でよいため省力的です。施肥量は窒素分量で、その期間中に与える油カスと同程度を目安とします。

### 3 温度管理

3月出荷は10～15℃で加温しましょう。

日中は25℃以上にならないように換気し、花茎の軟弱化や落蕾を防止しましょう。

### 4 遮光

品種によっては、遮光を行い、花色の確保や葉焼けの防止に努めましょう。

### 5 病害虫対策

#### (1)灰色かび病

比較的低温で湿度の高いときに発生しやすいので、通気に注意し多湿を防ぎましょう。

ハウス内は清潔にし、病花や枯れ葉は早めに摘除して発生源をなくしましょう。

#### (2)アブラムシ類・ハダニ類

早期発見が重要です。よく観察し、早期防除に努めましょう。

#### (3)カイガラムシ類

通風を図りましょう。成虫になると薬剤が効きにくいので、幼虫の発生時期をよく観察して防除に努めましょう。